

令和4年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立子育てふれあい広場	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	株式会社 明日香	施設分類	子育て支援施設
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日	利用料金制導入	一部利用料金制（利用料金及び指定管理料）
導入年月日	平成18年9月1日	指定回数	1回
施設設置目的	子育てふれあい広場は、乳幼児を子育て中の家庭に交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報の提供、助言及び乳幼児の一時預かりの実施など、子育て家庭に対する総合的な支援を行うことにより、地域における子育て支援基盤を形成し、誰もが安心して子育てができるまちの実現をめざし設置。		
施設概要	【所在地】ふじみ野市霞ヶ丘1丁目2番7号「ふじみ野市サービスセンター内」1階 【専用面積】295.88㎡ 【施設内概要】①一時預かり室80.97㎡ ②つどいの広場107.71㎡ ③事務室17.35㎡ ④幼児用便所18.24㎡ ⑤調理(乳)室4.38㎡ ⑥授乳室5.26㎡ ⑦休憩・更衣室10.75㎡ ⑧前室51.22㎡		
管理運営の基本方針	①子育てふれあい広場の設置目的に照らし適切な管理運営を行う。②公の施設であることを念頭に置いて、公平な運営に努める。③利用者の意見を反映する。④個人情報保護を徹底する。⑤苦情解決体制を取り、サービス向上に努める。⑥効率的な管理運営に努める。⑦管理責任者及び火元責任者を配置し、安全で安心な運営体制のもと、施設を運営する。⑧従事者の研修を行い資質向上に努める。⑨健康診断を実施するなど、職員の健康管理に努める。⑩安全管理に配慮し、火災、損傷を防止することで、財産の保全を図るとともに利用者及び事業従事者の安全確保に努める。⑪衛生管理に配慮し、快適な状態の保持に努める。⑫火事、事故等の緊急事態に備え、防災計画を定め避難、救出等の訓練を定期的実施する。		
指定管理者の主な業務	①ふれあい広場の維持管理 ②子育て家庭に対する交流の場の提供 ③子育てに関する情報の提供 ④子育てに関する相談業務 ⑤子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ⑥関係機関との連携 ⑦子育て家庭の支援に関する乳幼児の一時預かり		

評価項目

- 【評価基準】
- 5：目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合
 - 4：目標値以上の結果で評価できる場合（上記「5」以外）、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合
 - 3：業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合
 - 2：実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合
 - 1：業務等が目標値を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	広場・一時預かり保育において利用者が安心して気軽に利用することが出来るよう、新型コロナ対策については、利用者が安心して施設を利用出来るよう来館時の体調確認、検温、手洗いの協力を徹底し、施設内での感染発生を起こすことなく運営を行うことが出来た。 一時預かり保育については、新たに新規利用希望者に対して利用前面談を実施し、利用する乳幼児の生活習慣や体調、好みの食事等を確認して、初めて一時預かりを利用する乳幼児や保護者の不安軽減を図り、安心して利用してもらうと共に、職員も事前に情報を把握することが出来る為、より安全で利用者を尊重した保育を実施することが出来た。また、利用する乳幼児が安心して一時預かり保育を利用してもらう為、一人一人の状況に合わせた保育の実施を職員全員が対応出来るよう、常に確認と共有を実施して安全安心な保育を行うことが出来た。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
市指定事業	①子育てふれあい広場の維持管理 ②子育てふれあい広場での子育て支援に関するサークル・イベント・講習の実施 ③乳幼児の一時預かり対応 ④子育て家庭に対する交流の場の提供 ⑤子育てに関する情報提供 ⑥子育てに関する相談業務 ⑦子育て家庭の支援に関する関係機関との連携	
自主事業	①絵本読み聞かせ(月1回実施101組216名) ②あかちゃんとハッピータイム(月1回実施69組139名) ③親子deリズム(月2回実施83組146名) ④わらべうた遊び+ベビーマッサージ(月1回実施106組215名) ⑤誕生日会(年11回実施76組152名) ⑥親子バンド演奏会(年3回30組61名) ⑦親子製作講座(年3回実施36組89名) ⑧保健センター保健師保健講座(年2回13組26名) ⑨防災センター防災士防災講座(年2回実施8組17名) ⑩株式会社明日香保健師保健講座(年2回9組20名) ⑪文京学院大学サークルペープサート(年3回26組56名) ⑫ボランティアによるマジックショー(年1回12組24名) ⑬ふじみ市民文化祭出展(年1回31組31名) ⑭セタイイベント(年1回7組14名) ⑮夏祭り(年1回68組190名) ⑯お楽しみ会(クリスマス会)(年1回18組51名)	
サービス向上の取り組み	コロナ禍における感染対策として、入館時の検温、体調確認、手洗い協力の継続した実施と、定期的な施設内消毒、玩具類の消毒対応を実施して、施設内の感染予防に努めた。 広場・一時預かり保育の利用者数向上の為、施設専用のHPを作成して利用する乳幼児の生活・健康状況を保護者から聞き取り、乳幼児の状況を確認して乳幼児がより快適に過ごすことができ、保護者にも安心して頂ける保育の実施を行った。一時預かり保育の利用予約に施設専用のHPからのWeb予約を開始して、予約締切日まで24時間いつでもWeb予約可能なシステムを導入して利用者増に繋げた。また、一時預かり保育の利用料支払い方法として、現金支払いの他に新たに12月から電子マネーシステム(PayPay)を導入した。導入により電子マネー(PayPay)で支払う利用者も増えており、利用者から好評を得ている。 広場については、新たなイベントとして、近隣の文京学院大学の学生サークルに依頼を行い、定期的に親子イベント(ペープサート、手遊び歌等)の実施、ボランティアによるイベント(手品)、企業(知育玩具販売企業)との知育玩具を使用した親子イベントを実施して、利用者から好評を得た。 また、玩具のサブスクリプションサービス「トイサブ」を導入して、毎月変わる様々な玩具を広場で提供を行い利用者から好評を得た。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	自己資本比率70.3%で良好。無借金であり、売上高、利益ともに堅調である。	3
その他特記事項		

3 施設の有効活用

	利用区分等	予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
施設利用状況	つどいの広場利用者数	15,000 人	11,486 人	174.3%	76.6%	
	一時保育利用者数	1,000 人	869 人	158.0%	86.9%	
	子育て相談件数	200 件	104 件	62.3%	52.0%	
（特記事項） 広場利用者数は、広場の紹介、イベント・子育て講座の状況等をSNS(Twitter、Instagram等)で案内を実施していること、新規・既存イベント・講座の実施により、昨年度より利用者数が増加となった。 一時預かり保育は、コロナ禍の状況もあり、利用者数が少ない時期もあったが、週明け月曜日や週末金曜日、2月、3月の利用が多かった。						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由		
	市指定事業	【管理業務の範囲】ふじみ野市立子育てふれあい広場の管理運営に関する基本協定書第12条 (1)ふれあい広場の維持管理に関すること (2)子育て家庭に対する交流の場の提供に関すること (3)子育てに関する情報の提供に関すること (4)子育てに関する相談業務に関すること (5)子育て及び子育て支援に関する講習の実施に関すること (6)子育て家庭の支援に関する関係機関との連携に関すること (7)乳幼児の一時預かりに関すること (8)その他市長が必要と認める業務に関すること		追加事業		
				未実施事業		
	自主事業	(1)親子deリズムピンポンパン (2)あかちゃんとハッピータイム (3)絵本よみきかせ (4)わらべうた+ベビーマッサージ (5)誕生日会 (6)ボランティアイベント(演奏会、ペープサート、マジックショー) (7)親子製作(立体工作、絵) (8)壁面製作 (9)講座 「初めての夏の過ごし方」 「防災 家庭内事故・地震・水害時の備蓄品について」 「子どものアレルギーとスキンケア」 「身近な病気と応急処置」 「防災 家庭での事故防止と備蓄品について」		【未実施事業】 (1)おもちゃ交換会：コロナの影響により、交換玩具の衛生管理対応が困難であった為、実施に至らなかった。 (2)移動ふれあい広場：コロナの影響により、移動型遊具を使用する際の利用者間の感染対策の徹底が困難であった為、実施に至らなかった。		
利用サービス向上の取組	施設内の換気、玩具等の備品の消毒を徹底して利用者が安心して広場、一時預かり保育を利用出来るよう対応を行った。 イベント・講座の実施については、感染対策を講じて予約制にて実施したが、イベント・講座によっては満員になるという好評を得た。 前事業者が実施していたイベント・講座では、実施中の広場の自由利用を中止していたが、利用者の要望を聞き、今年度からは夏祭り・クリスマス会以外のイベント・講座を実施する際は、広場内を区分けして、自由利用者もイベント・講座中に広場を利用することが出来るように変更し、利用者から好評を得た。					

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の 要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケートの実施 ①活動毎アンケート ②利用者全体アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容 ①各イベント終了時に参加者からイベントについての感想・要望を受ける (実施時期) 各イベント終了後 (調査方法) イベント終了後に参加者に専用用紙を配布し、記入依頼を実施 (回収率) 100% (調査項目) イベントについての感想・要望 ②利用者アンケートを実施 (実施時期) 第1回 令和4年9月12日～10月7日 第2回 令和5年2月15日～2月28日 (調査方法) 第1回 利用者に専用用紙を配布 第2回 利用者に専用用紙の配布とWebアンケートフォームの案内 (回収) 第1回 50枚 第2回 用紙51枚、Web回答20件 (調査項目) 利用者年齢(保護者・乳幼児)、利用目的、イベントへの感想・要望、一時預かり保育への感想・要望、職員への感想・要望、広場全体についての感想・要望		
	(3) 調査、会議等の結果 ①利用者からの広場、一時預かり保育に関する感想・要望を集計して職員全員で内容を把握し、変更・改善出来る事項(玩具・イベント内容、時間等)についてから対応を行った。 ②アンケート結果から、広場利用者の約8割が母親と子どもの来館であった。父親と子どもの来館は約2割であった為、今後、父親と子どもの来館数を増やす為の対応として、父親が積極的に参加出来るイベントの実施等を企画し実施していく。 ③アンケート結果から、一時預かり保育について、前日・当日の予約希望やふじみ野市以外の在住でも利用希望があった。また、1日の預かり時間の延長希望(1日7～8時間)もあった。		
利用者からの 評価・要望・ 苦情等	(1) 良好とする評価 (つどいの広場) ・手作り玩具や毎月入れ替わる玩具があって、子どもが来館を楽しみにしている。 ・親子で参加出来るイベントが多くあって嬉しい。 ・子育てに関するイベント(講座)があるのは助かります。 (一時預かり保育) ・職員全員が丁寧に対応してくれる為、子どもも喜んでおり助かっている。 ・電話、訪問予約以外にHPからの予約も出来るようになって便利。 (その他) ・職員全員の子どもや自分(保護者)への対応が良くて助かっている。 ・職員に話や相談がし易い。専任の保健師(明日香保健師)の方もいて助かる。		3
	(2) 苦情・改善等の要望事項 (つどいの広場) ・兄弟で利用しているので、幼児用の玩具を増やして欲しい。 ・幼児が身体を動かして遊べる玩具(すべり台等)があると嬉しい。 ・親子で身体を動かす(体操等)のイベントを実施して欲しい。 ・子どもと一緒に製作出来るイベントを実施して欲しい。 (一時預かり保育) ・Webでの予約が出来るとありがたい。 ・利用金額が異なってもよいので他市在住でも利用出来るようにして欲しい。(川越市に一時預かり保育が無い為)		
	《対応措置》 (つどいの広場) ・幼児用の玩具を増やした。また、必要に応じて修復、修理を行い、対応が困難は玩具については入れ替えを行った。 ・保護者と子どもと一緒に製作が出来るイベントを実施した。また、体操等の身体を動かすイベントはコロナ禍の状況で未実施であった為、次年度に実施を検討する。 (一時預かり保育) ・HPでのWeb予約を開始し、利用者への周知を図る。 ・他市在住者利用のご要望については、ふじみ野市にご要望をお伝えする。		

	指定管理者収支（ 令和4年度 ）				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和4年度決算			令和3年度決算（前年度）	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
①指定管理 業務事業収支	収入	利用料金	2,632,000	利用料金	1,971,432	歳入	施設使用料	0	施設使用料	0	
		事業収入	150,000	事業収入	1,000		行政財産使用料	0	行政財産使用料	0	
		指定管理料	28,163,000	指定管理料	28,347,000		国庫支出金	5,865,000	国庫支出金	5,926,000	
		雑入	5,000	雑入	0		県支出金	5,865,000	県支出金	5,926,000	
		管理運営費 への充当	0	管理運営費 への充当	0		その他	0	その他	0	
		計	30,950,000	計	30,319,432		計	11,730,000	計	11,852,000	
	支出	人件費	25,503,000	人件費	25,469,571	歳出	修繕料	0	修繕料	0	
		消耗品費	540,000	消耗品費	848,392		保険料	0	保険料	0	
		光熱水費	800,000	光熱水費	1,414,352		指定管理料	28,347,000	指定管理料	26,034,000	
		委託料	200,000	委託料	0		業務委託料	0	業務委託料	0	
		賃借料	120,000	賃借料	120,000		土地・建物 賃借料	0	土地・建物 賃借料	0	
		通信費	120,000	通信費	124,555		その他	0	その他	0	
		保険料	240,000	保険料	35,210						
		修繕費	400,000	修繕費	0						
		事業費（市 指定事業）	1,217,000	事業費（市 指定事業）	1,157,148						
		公租公課	0	公租公課	0						
		一般管理費 （本社経費 等）	1,800,000	一般管理費 （本社経費 等）	1,150,000						
		その他	10,000								
	計	30,950,000	計	30,319,228	計	28,347,000	計	26,034,000			
	収支	0		204		差引	△ 16,617,000		△ 14,182,000		
②自主事業 収支	自主 事業 収支	収入	0	収入	0						
	支出	0	支出	0							
	自主事業収支	0	自主事業収支	0							
③収支 ※指定管理事 業＋自主事業 （①＋②）	収支	0		204							
④市への 納付金 ※納付金がある施設のみ	市への 納付金	支出	0	支出	0						
⑤最終収支 （③－④）	収支	0		204							
⑥新型コロナ ウイルス感染 拡大防止に係 る過年度指定 管理料（令和 3年度分）	（収入）市からの給付額			0	（歳入）指定管理者からの返還額			0			
	（支出）市への返還額			0	（歳出）指定管理者への給付額			0			
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								84.0%		
	事業収支における経営分析			指定管理料として、物価高騰による電気料増額分を増額をしたが、新型コロナウイルス感染拡大による利用者数減少や、事業未実施による収入減であった。しかし、保険を団体契約で結ぶことや、備品を他施設から流用できるものは新規購入しないなどの努力により黒字となった。							
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由			指定管理者の他受託施設と一括して備品購入を行うことなどにより経費削減を図ることができたため。							

6 管理運営全般

※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績			
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実にされたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正にされたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視がされたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項				

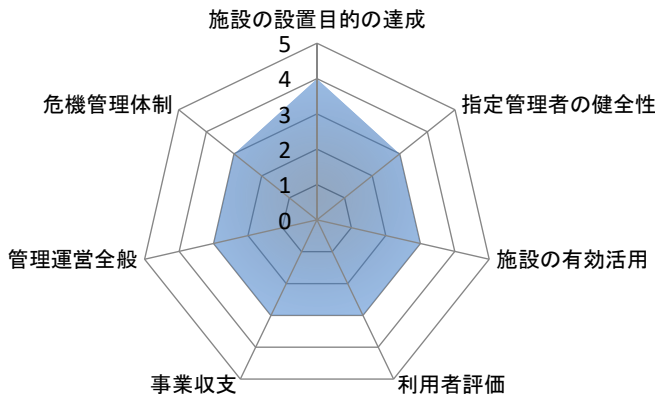
7 危機管理体制

※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項	株式会社明日香所属保健師によるエビベン使用、嘔吐処理対応講座を職員全員が受講して万一の発生時に対応出来るようにした。		

総合評価

【総合評価】 S：極めて優れている／A：優れている／B：やや優れている／C：適正である／D：努力が必要である／E：改善が必要である

総合評価		子育て支援施設		
評価項目	評価			
総合評価	施設の設置目的の達成	4	B	
	指定管理者の健全性	3		
	施設の有効活用	3		
	利用者評価	3		
	事業収支	3		
	管理運営全般	3		
	危機管理体制	3		
評価理由		前事業者から業務を引き継ぎ、ふれあい広場・一時預かり保育とも新規対応となったが、ふれあい広場運営、既存イベントのリニューアルや新規イベントの実施を行い、利用者増に繋がった。 一時預かり保育においては保育対応の見直しを行ったことによって、乳幼児が過ごし易く、保護者が安心して預けることが出来る施設になったことで、利用者が増えたことを評価した。 また、利用者の声をもとにWeb予約の導入や、電子マネー決済やトイサブの導入及び冷蔵ロッカーの配置による利用者満足度を高める施策を実施したことを評価した。		
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項		実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	①新型コロナウイルス感染防止対策の徹底		①施設内、玩具等備品の消毒の徹底、職員の健康管理、利用者の来館時の検温・体調確認・手洗い協力の依頼を徹底	①引き続き感染防止対応を実施する
	②広場と一時預かり保育の利用者を増やす		②SNS(Twitter、Instagram)を利用し、広場・一時預かり保育の紹介と広場イベントの告知、案内チラシを施設周辺の店舗・保育所・幼稚園・医療機関に配布し、認知度を高める。	②SNSの利用を継続すると共に、市内の各種イベントへの参加や鉄道駅・店舗への案内ポスターの掲示依頼を実施する
	③つどいの広場での新規イベントの実施		③新規イベントの企画・実施に向けた外部ボランティア（社会人・学生等）へイベントの依頼	③更なる新規イベントの企画・実施と外部ボランティア、企業（教育・医療関連）との共同イベントの提案、実施

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- ・広場で実施するイベントについて、新規イベント（誕生日会、親子製作、ボランティアイベント）を企画し実施した。新規イベントの実施により、広場の利用者増に繋げることが出来た。併せて既存イベントへの参加者増や、一時預かり保育の利用者増にも繋げることが出来た。
- ・一時預かり保育について、新たに新規利用者への利用前面談を実施して、保護者の一時預かり保育に関する不安等を取り除くと共に、初めての乳幼児に対して職員が事前に状況を把握して保育を行うことが出来るようになった。新規利用者への面談は保護者、職員共に有益となっている。
- ・広場を利用する利用者に向けて、株式会社明日香所属の保健師が定期的（月2・3回程度）に来館し、子育てに関するアドバイス、相談を実施して利用者から好評を得ると共に、利用者増に繋げることが出来た。
- ・広場利用、イベント内容、一時預かりに関する情報をSNS(HP、Twitter、Instagram)を使用して紹介を行い、利用者増に繋げることが出来た。
- ・一時預かり保育の事前予約対応として、施設専用HPからの予約システムを開始し、利用締切日まで24時間いつでも予約出来るようにした。
- ・一時預かり保育の利用料の支払い方法に、電子マネーシステム(PayPay)を導入した。
- ・近隣にスーパーがあることにより買い物帰りに広場に寄れるように、無料で使用出来る冷蔵ロッカーを設置した。

② 業務の効率化に対する取組

- ・広場でのイベント予約受付対応の手続きの見直しを行い、申込漏れ、重複を起こさない対応を行った。
- ・一時預かり保育の当日利用に関する保護者の手続き書類の見直しを行い、保護者がより速やかに手続きが出来るような対応を行った。

③ その他

- ・施設内設備、備品、玩具を日々点検し、破損等を確認した際は速やかに対応を行った。
- ・広場の利用状況、イベント対応、一時預かり保育状況（予約人数、利用者情報等）について、職員全員での綿密な情報共有を図った。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・施設内での新型コロナ発生防止の為の備品・玩具等の消毒の徹底と、来館者への検温・体調確認、手洗い協力の依頼を継続する。また、職員の健康管理にも留意していく。
- ・事故、ケガの発生を防ぐ為、日々の施設内・備品の安全確認、職員の巡回、広場・一時預かり保育状況の職員間の共有を図り、事故・利用者のケガ防止対応を実施。引き続き、施設内・備品の安全確認と事故・ケガ防止の為、職員の巡回、広場・一時預かり保育状況の職員間の共有を図っていく。
- ・避難訓練の実施内容を火災・地震・不審者の3種類に分けて、毎回内容を変えて実施していく。実施にあたり、広場・一時預かり保育利用者にも積極的に参加してもらうように参加を促していく。利用者の参加率を上げる為、施設内に年間計画を貼り出したり、訓練日を施設内に掲示を行ったりSNS(Twitter、Instagram)で案内を行う。

(3) 次年度以降の取組

- ・広場・一時預かり保育の利用者増に向けて、施設内近隣の商業施設、保育関係施設、鉄道駅に広場の紹介ポスター・チラシの設置を依頼、設置を行う。また、市や町内会主催のイベントにも参加し、広場・一時預かり保育の周知を行う。
- ・昨年度実施が出来なかったイベントや、新たなイベントを企画し実施する。特に父子で参加出来るイベント、子育てについて保護者が気軽に話合えるイベント、親子が身体を動かせるイベントを実施していく。
- ・一時預かり保育の利用者増に向けて、現在実施中のWebでの予約、電子マネーサービスでの利用料支払い対応の更なる周知を行う。
- ・一時預かり保育対応の更なる向上の為、職員への保育関連研修を継続して実施して対応の質を高めていく。
- ・保護者に一時預かり保育を利用する際の持参物で、貸出等が可能な物を検討し、保護者の負担を減らすと共に利用率を上げていく。